

ゆうゆう通信

令和4年9月10日発行 第43号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047

2A 夏祭り



2階1・2丁目では8月4日(木)に夏祭りを行いました。1カ月前からポスターで告知、夏祭りの飾りつけを行い、夏祭りの雰囲気を感じて頂くよう準備しました。利用者様からも「楽しみだ、飾りつけ見るだけでも楽しい」と言われ、当日を楽しみにされていました。

当日は朝から縁日会場が現れ、利用者様・職員は法被を織り、射的・ポリーング・輪投げ・お菓子釣りに参加し、自慢の腕前を披露し楽しめました。その後みんなで1カ月前から練習した竜狭小唄に合わせ盆踊り大会、夏歌を歌いました。縁日会場で活動し体を動かし踊りをした後の唄は、いつも歌う時よりも、利用者様個々の唄声が大きく大合唱となりました。

午後は職員お手製扇子を各自持ち、1・2丁目定番の音楽体操「好きになった人」他2曲に合わせて踊りました。また利用者様にはシークレットで職員3人が夏祭りを感じてもらいたいと、浴衣に着替え参加しました。職員一名は利用者様の前で女性利用者様達に指導・協力頂き着付けをしました。

最後は祭りの定番「かき氷」を食べました。イチゴとメロン・練乳・あんこをトッピングで好きな味で食べて頂き、男性はメロン・女性はイチゴ練乳が人気でした。一日を通して利用者様・職員共に楽しい時間を過ごすことが出来ました。



2B 夏祭り



令和4年7月7日(木)に2階3・4丁目で1日かけて夏祭りを行いました。当日は職員が赤や黄色の半被を身に着け、頭には手拭いでハチマキを巻きました。

午前中の風船バレーでは、利用者様が参加し、2つの風船を使用して体を大きく動かしながらく、熱いラリーを繰り返しました。その後ヨーヨー釣りを行いました。皆様、工夫しながら竿を使って1人1個ヨーヨーを釣り上げて周りの利用者様方と見せ合いながら話をする姿が見られました。「私はいいいに。手が動かない。あんたがやりな」と乗り気ではない利用者様もいましたが、職員が竿を渡すと「えー？」と笑みをこぼしながら時間をかけてヨーヨーを釣ることが出来ました。

午後にはリハビリスタッフも加わり、15時のお茶の時間前に職員と利用者様全員で「竜狭小唄」を踊りました。その後、職員が作成した顔出しパネルから顔を出してもらい、記念撮影を行いました。1日を通して実施した夏祭りですが、多くの利用者様から「楽しかった。」という言葉とともに、笑顔が見られました。職員からも「普段と違った雰囲気、利用者様が笑顔で楽しんでいる姿が見られて、とてもうれしかった。」等、利用者様と職員が笑顔で楽しめたイベントとなりました。



デイケア 夏祭り



デイでは、令和4年8月22日(月)から24日(水)まで夏祭りを行いました。今年も昨年に引き続きコロナ禍での「夏祭り」となりました。夏祭りに向けて、うちわを作ったり、提灯や掛け軸などで飾り付けをしました。当日のデイルームには朝からお囃子が流れ、部屋の雰囲気も少し変わり、一体何が始まるの?と思われた方も多かったのではないのでしょうか。例年は焼きそばやお好み焼きなどを、目の前で作って夏祭りの雰囲気を楽しんでいただいておりましたが、今年もコロナ禍で、中止し、お昼にアップルジュースやノンアルコールビールなどのドリンクサービスで好きなものを選んでいただき、利用者様や職員で乾杯をしました。おやつには、特別メニューで、黒蜜きな粉アイス、たい焼きアイスを食べました。

午後からは、日本の三大祭りの映像や諏訪湖や新潟の長岡の花火の映像を観賞し、日本の夏を楽しみました。その後みんなで龍狭小唄と飯田りんごんを踊りました。クライマックスには新調した手作りお神輿も登場し、一気にお祭りムードになりました。「楽しかった」と言われる方もおり、利用者様、職員ともに楽しい時間を過ごせました。暑い夏の思い出がまた一つできました。



3B

夏祭り

令和4年7月25日、3階Bチームのフロアで夏祭りを行いました。

夏祭りに向けて、利用者様一人一人に、牛乳パックで作ったうちわへ飾りつけをしてもらいました。手作業の得意な利用者様が、折り紙で作成した金魚を、金魚すくいの金魚風ビニール袋に入れて用意したり、当日踊るりんごんや龍狭小唄の振り付けを利用者様と練習する等、夏まつり前から利用者様と準備を行いました。浴衣も上半身だけで羽織るタイプの浴衣を職員と利用者が共同で縫い作成してくれました。

当日は、浴衣姿の写真撮影を行いました。先に踊りを踊るユニットとヨーヨーすくい・輪投げ等を行うユニットに分かれて、夏祭りの行事が始まりました。輪投げの景品で折り紙の金魚を渡し、たらいに浮かべたヨーヨーをお玉ですくう屋台も盛り上がりました。2階Bチームが夏祭りで使用したお化け等の顔出しパネルを借りて来て、写真撮影をし、にこやかな笑顔の写真が撮れました。龍狭小唄とりんごんは、職員が浴衣など着て踊るのを見ながら、うちわを持って一緒に歌い踊りました。おやつには綿あめ・駄菓子・ラムネ等用意し、夏祭りの雰囲気を楽しんでもらう事が出来ました。



LOVE PEACE
NO WAR



ひまわりの種プロジェクト実行委員会の方から、ひまわりの種から作るひまわり油を販売し、その収益をウクライナの復興支援のために寄付するという趣旨のお話が職員を通じてあり、当施設でも賛同し、この事業に参加することになりました。

ひまわりの種をたくさんいただいたので、職員の各家庭でひまわりを育ててもらおうように配布しました。また、施設の利用者様にもひまわりの花を見てもらうため、玄関前と庭にも種をまきました。ひまわりの日々の成長を見守りながら、一日も早くウクライナに平和が訪れることを祈ります。

ひまわりの種で
ウクライナに支援を

暑い夏を元気に！



園児からプレゼントされたうちわで暑い夏を涼んでいます。

上郷なかよし保育園様から、折り紙で作ったヒマワリの花で飾ったうちわのプレゼントをいただきました。折り紙は、園児の皆さんが園に咲くひまわりを見て作ったもので、うちわをかわいらしく飾っています。「暑い夏を元気に！」とのメッセージも添えられ、子供たちの元気な姿を想像しながら、うちわで夏を楽しんでいます。

上郷なかよし保育園から
うちわを頂きました



毎年恒例行事である、ゆうゆうデイケア農園での利用者様と一緒に夏野菜作りを今年も行いました。今年の野菜ラインナップは、きゅうり（5本）、ナス（2本）、ピーマン（2本）、ササゲ（2本）、中玉・小玉トマト（各1本ずつ）、南瓜（2本）、スイカ（3本）、白いゴーヤ（5本）を植えました。まず初めの土作りから利用者様と一緒に作業を行い、発育途中では剪定・殺虫剤の散布・追肥のタイミング等、端から端まで指導をしていただきました。その甲斐が実り、今年は例年に比べ豊作となりました。特にきゅうりでは、6月中旬より取り始め8月上旬辺りまでで合計315本収穫することができ、その他の野菜も、利用者様のおかげでたくさん収穫することができました。来年もまた利用者様と一緒に楽しくゆうゆうデイケア農園が運営できればと思います。

ゆうゆう農園から

自転車が増加されました

今年度、2Fフロアでは新規に2台目のセラバイタル（自転車）を設置しました。

昨年度、ゆうゆう入所中の利用者様たちの運動機会を増やし機能向上を図ろうと、デイクアで使っていたセラバイタルを2Fへ移動し使用していただきました。セラバイタルに親しみのある“ゆうゆうデイクア利用者様”の短期入所中に使用するだけでなく他の利用者様も利用していただきました。運動の結果を数字でどの程度出来たかを理解しやすく達成感が得られることから、多くの利用者様たちからも大変好評を頂き、もう1台追加の設置となりました。今回、追加設置したセラバイタルは最新式のものになります。以前のものに比べ、画面が大きくなり、漕ぐ力を利用したゲームが追加されています。ただ単純に漕ぐだけでなく、ゲームに合わせてペダルの回転数や左右の漕ぐ力を調整するなど、楽しみながら多様な漕ぐ運動が行えます。今後も様々な方に利用して頂き、運動機会を増やしていけたらと思います。



災害備蓄してありますか？

毎年、さまざまな災害に見舞われている日本ですが、そこに住む私たちが命や暮らしを守るポイントは普段からの備えと早めの行動です。

ゆうゆうでも地震などの災害に備えて、入所者様、1人につき1日3Lの水、白粥（水分を加えれば食べられるタイプの物）ハンバーグやシチュー、牛丼の素等、簡易に食べられ変化にとんだ非常食を3日分備蓄しています。他にも果物の缶詰めや魚缶をローリングストックして、食材として使用しながら、備蓄品としても機能させ、併せて使い捨ての食器や箸なども備えています。

ゆうゆうでは9月の末に防災訓練を行ないますが、備蓄品についても9月中旬より、玄関に展示予定です。お越しの際は災害備蓄の参考にしてみてくださいね。



新入職員紹介



栄養管理係調理員

黒河内奈緒美

8月1日より調理員として勤務させていただきます。皆様へ安心・安全かつ美味しい食事を提供できるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

編集後記

今年の夏こそは新型コロナウイルスから解放されると思っておりましたが、第7派がすごい勢いで襲ってきました。飯田市においてもお盆明けには1日の感染者数が300人を超える日もありました。9月に入りその数も減少してきており少しホッとしています。このところ週末には規模こそ小さいですがあちこちで秋祭りの花火が上がっています。来年こそは思いっきり花火が見れることを望みます。（博）



どうぞよろしく♪